

札幌ペンテコステ教会は、1952 年に日系アメリカ人の宣教師が札幌の地に来て始めた教会です。当時、中古売却物件を教団の資金で買い取って改装し教会として使用しました。それから 70 年余り、内外装の修理修繕・改装などを繰り返して使用してきましたが、各所の傷みは年々進み、毎年の雪の重みで歪みも少しずつ大きくなってきました。市役所の建築確認の記録も残っていないほど古い建物で、安全性に懸念が生じてきたこともあって、宣教 70 周年の記念とともに建て替えることになりました。

教会堂建設のため 30 年以上も前から「会堂献金」として少しずつ積み立てていましたが、建て替えの費用としては決して十分な金額ではありませんでした。そのような中であって、今回の工事をしていただいた株式会社日本ハウスホールディングスとのご縁に導かれ、教会と同じ志が与えられた方々からの捧げものもあり完成を見ることができました。1つ1つの出来事の中に、天地万物の創造主である神様のお導きとお助けを感じながら今日に至っています。

工事中は、資材運搬や作業車両の出入りなど、ご近所の皆様には何かとご迷惑をおかけいたしました。建物本体は出来上がりましたが、外部や歩道部分の整地・舗装など、もうしばらく作業が続きます。すみませんが、どうぞご容赦ください。

教会を建て替えました

中はどんな感じなんだろう？ もしご興味があれば、どんなふうに出て上がったのか様子を見にいらしてください。歓迎いたします。旧会堂をご存知の方は、ぜひご記憶と比べてみてください。

聖書の中に、以下のように記されています。

主が家を建てられるのでなければ、建てる者の勤労はむなしい。

主が町を守られるのでなければ、守る者のさめているのはむなしい。

あなたがたが早く起き、おそく休み、辛苦のかたを食することは、むなしいことである。

主はその愛する者に、眠っている時にも、なくてはならぬものを与えられるからである。

(旧約聖書 詩篇 第 127 篇 1・2 節)

いろいろな知恵や工夫を凝らして建てたり、町を守るべく厳重な番をしたり、頑張っているいろいろな事に取り組むことは素晴らしいことです。でもその中に、主（聖書では神様のことを「主」と呼ぶ表現があります）が関与されていないのなら「虚しい」とも書いてあります。人間の知恵や能力には限界があります。いろんなことができますが、できないこともたくさんあります。将来のことははっきりわかりません。だから、神様に信頼しなさい、ということです。

「神様に頼るなんて、軟弱だ」って思いますか？ 自分が「強い」と思っている方は、そう考えるかもしれません。でも実際のところ、人間ってそんなに強い存在ではないのですね。今回の教会建て替えを通じて、改めて実感することができています。ここに至るまでのいろいろなエピソードがあるのですが、この紙面では書ききれません。ざっくり要約するならば「神様は愛に満ちた良いお方である」ということです。

主は言われる、わたしがあなたがたに対していただいている計画はわたしが知っている。それは災を与えようというのではなく、平安を与えようとするものであり、あなたがたに将来を与え、希望を与えようとするものである。

(旧約聖書 エレミヤ書 第29章11節)

神様は、一人ひとりに対して良い計画を持っておられます。しかし、その計画を受け取ることを拒否すれば、実現されません。どう思いますか。自然界の法則や人々の思惑によって決まり流される人生が良いのでしょうか。それとも「平安・将来・希望を与える」という神様からの約束を受け取って生きるのが良いのでしょうか。その選択は、個人の自由意志に任されています。神様は強制的に信じさせようとはしません。ただ、手を広げて待っておられます。どうでしょうか。本当の神様からの愛と、良い計画とを受け取りたいと思いませんか。

祈ってみましょう

神様とかキリスト教とか興味もなかったし信じる気もありませんでした。でももし本当に神様がいて、私に関する良い計画があるのでしたら、わかるように助けてください。

札幌ペンテコステ教会

主任牧師 矢巻 邦彦

札幌市中央区南14条西18丁目4-5

(TEL&FAX 011-561-5072)

<http://sapporopk.com/>

教会の定期集会のご案内

聖日礼拝 毎週日曜日 10:30~12:00 頃

札幌ペンテコステ教会 <http://sapporopk.com/> (QRコード→)



【教会へのアクセス】

西4丁目電停から市電にて
西線14条下車
JR札幌駅札幌ターミナルから
JR北海道バス啓明線[51]にて
南14条西17丁目下車

駐車スペース有

